



# MS220-18002

## サーキットブレーキキット

取付・取扱説明書

この度はTRDサーキットブレーキキットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。

開封時に必ず構成部品がある事、をご確認下さい。本書には上記品の取付要領と取扱について記載してあります。

取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

### ■品番・適合

品番	適合車種	型式	年式	備考
MS220-18002	86	ZN6	'12.04~	GTグレード及び86 Racingのみ適合 *1 *2

\*1 本商品をサーキット走行・自動車競技等、一般公道以外で使用した場合、全てが保証対象外となります。

\*2 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <<http://www.trdparts.jp/>>

### ■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	ブレーキパッド Fr	04491-ZN600	1 set	
②	ブレーキパッド Rr	04492-ZN600	1 set	
③	ブレーキディスク Fr	43512-ZN620	2	使用ブレーキパッドは①品番の物に限定。
④	取付・取扱説明書(本書)		1	

### ■取付・取扱上の注意

#### ⚠警告

**本セット品の取付及び磨耗等による交換作業は、必ず認証を受けた整備工場を実施して下さい。**

\* フロントブレーキディスクは冷却性能重視の為、純正品と比べ厚さが増加しています。キット装着時及びフロントパッド交換時は、必ず上記品番の指定パッドをご使用下さい。(本セットのディスクと純正パッドの組合せ使用は出来ません。)

\* パッドは制動性能を重視した材質の為、純正品と比べ制動時の鳴きが発生する場合がありますが異常ではありません。ブレーキグリスや鳴き止めグリスとの併用をお勧めします。

また、制動性能を重視した材質を使用している為、純正品と比べダストの発生量が多くなりますが異常では有りません。

\* サーキット走行等の高負荷・高温時での使用を主目的とした商品の為、一般公道での使用においては材質の特性上、ディスク及びパッドの磨耗が早まる場合がありますが異常では御座いません。ご承知おき下さい。

### ■取付及び交換作業時、下記事項をお守り下さい。怪我・火傷の原因となる場合があります。

⚠注意(1) パッド交換は冷えた状態で行って下さい。走行直後の交換作業は火傷の原因となります。

⚠注意(2) パッド表面を素手で触らないで下さい。摩材に含まれる材質が皮膚に刺さり怪我をする場合があります。

### ■下記警告を守らないとブレーキの制動不能や低下を生じ、お客様の死亡や大怪我等、人身事故の原因になります。

⚠注意(1) 本商品の取付・交換の際は、車両修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業して下さい。

⚠注意(2) 本商品取付後も、車両毎に定められた内容での定期点検を実施して下さい。点検を怠りますと事故の原因となります。

⚠警告(1) 本商品は86専用のキットです。他の車両への取付けはお止め下さい。

⚠警告(2) 組付前にパッドを落としたりぶついたりする乱暴な扱いはお止め下さい。破損の原因となります。

⚠警告(3) パッド交換の際は修理書に従い、パッド表面にグリス等の油分を付着させぬ様、十分注意し作業して下さい。油分の付着によりブレーキの効きが極めて悪くなり、事故の原因となる場合があります。

⚠警告(4) パッド交換時には、ディスクの磨耗状態・シリンダーの動き・オイル漏れ・ブレーキホースの亀裂等を良く確認して下さい。確認の結果、不具合があれば適切な処置をして下さい。そのままの使用は重大事故の原因となります。

⚠警告(5) 本商品の取付により純正車両とはブレーキフィーリングが変わります、特に取付直後のブレーキにあたりがでる迄は安全な場所で慣熟走行を行い挙動の変化を会得して下さい。直ぐの乗出しは事故の原因となる場合があります。

⚠警告(6) 取付直後の急制動は耐久性の低下を招くと共に、ディスク偏磨耗による振動等の原因になりますのでお止め下さい。

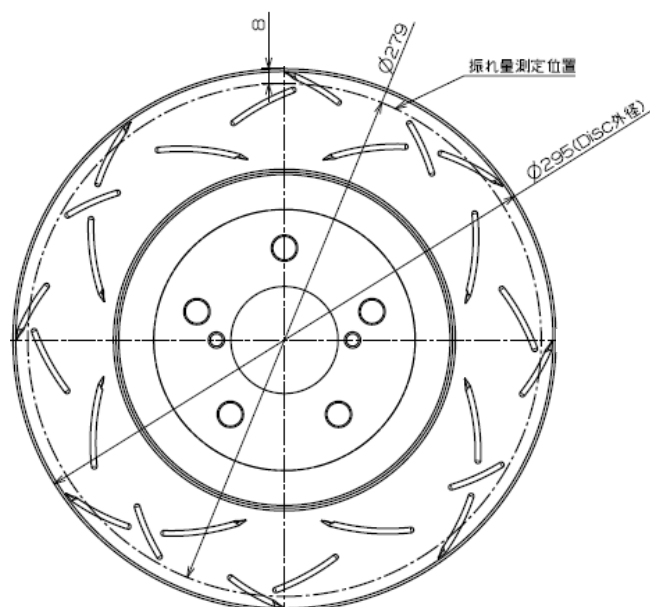
⚠警告(7) 高速走行時の不要な急ブレーキの繰返しはお止め下さい。本来の性能が発揮出来なくなる場合があります。

⚠警告(8) 長い下り坂を降坂する時は、フットブレーキだけを使用しますとフェード現象によりブレーキ性能が大幅に低下する場合がありますので、エンジンブレーキを併用・多用して下さい。

⚠警告(9) 本商品にはパッドウェアインジケータ等のパッド残量警告装置が装着されていませんので、定期的に残量を確認して下さい。パッドの磨耗具合は運転方法、使用環境により異なりますがバックプレート(鉄板)部分を含んで残量が8mmとなった時点での交換を推奨します。

### ■組付時の注意事項

- \* ディスク取付時、アクスルハブとの接合面にゴミ・異物を噛みこまない様に十分注意して下さい。組付前にハブ面の汚れ・錆等を完全に除去して下さい。ゴミ・錆・異物の噛込みはディスクの振れ原因となります。
- \* ディスクを取付後、ハブナットにて固定し振れを計測する事を推奨致します。



### ディスクの振れ点検

1. ディスクをハブに取付け、ハブナットを使用し、固定する。
2. 修理書に従い、ダイヤルゲージベースにダイヤルゲージをセットする。
3. ディスクの外周より8mmの位置の円周上で振れを計測する。

\* (振れ限度 0.05mm以内)

注意：ダイヤルゲージのデップス先端をディスクのスリットに落とさない様に注意して下さい。  
1度落下させた時はゲージに狂いが生じますので、最初からやり直して下さい。

### ■サーキット走行時の点検・確認事項

- \* 走行前にはパッドの残量点検及びブレーキフルードの交換を含め、車両のメンテナンスを推奨します。
- \* バックプレート(鉄板部分)を含め、10mm以下に減ったパッド、リング状に磨耗したディスクでの走行はお止め下さい。
- \* 使用環境や負荷により制動時にブレーキ鳴きが発生する場合がありますが、異常ではありません。
- \* 本商品は高温、高負荷環境での耐久性を持たせてありますが、サーキット走行での性能保証をするものではありません。